明治初期の外交

ポイント1 岩倉(いわくら)使節団の派遣

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

1871年から＿岩倉使節団＿が約2年間欧米(おうべい)を視察

目的　　：欧米との不平等条約の改正など

全権大使：岩倉具視(いわくらともみ)

参加　　：大久保利通(おおくぼとしみち)・木戸孝允(きどたかよし)・伊藤博文(いとうひろぶみ)など
津田梅子(つだうめこ)や中江兆民(なかえちょうみん)ら留学生も同行

↓

不平等条約の改正交渉は失敗したが，欧米から学ぶことで日本の近代化を推進

資料1 岩倉使節団

資料2 女子留学生

ポイント2 清(しん)・朝鮮(ちょうせん)との関係

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

① 清との関係

1871年　清との間に対等な＿日清(にっしん)修好条規＿を結び，正式に国交を開く

② 朝鮮との関係

留守政府では　**征韓論**（せいかん）　が起こる

内容：武力で朝鮮に開国を迫る政策

　　西郷隆盛（さいごうたかもり）　や板垣退助（いたがきたいすけ）が中心となる

　　⇳

1873年　欧米から帰国した岩倉具視・大久保利通らは国力充実の優先を主張

結果：政府は分裂し，西郷隆盛や板垣退助は政府を去る

1875年　江華島（こうかとう／カンファド）事件

内容：日本の軍艦が無断で測量したことで朝鮮と衝突（しょうとつ）

　↓

1876年　**日朝修好条規**

内容：朝鮮にとって不平等な条約を結ばせる

　　日本の領事裁判権を認めさせる

　　朝鮮には関税自主権がない

確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1)　1871年に欧米に派遣された使節団の全権大使となった人物は誰か。　**岩倉具視**

(2)　1871年に日本が清との間に結んだ対等な条約を何というか。　**日清修好条規**

(3)　朝鮮に対し，武力を用いてでも開国を迫ろうとした西郷隆盛や板垣退助らの考えを何というか。　**征韓論**

(4)　1875年に日本の軍艦が無断で測量を行い，朝鮮から砲撃を受けた事件を何というか。　**江華島事件**

(5)　1876年に日本が朝鮮に結ばせた，日本の領事裁判権を認めさせ，朝鮮には関税自主権がない不平等な条約を何というか。　**日朝修好条規**